

東通村診療所発熱外来棟が完成しました

東通村診療所では新型コロナウイルス感染症の流行に伴い、風邪症状、発熱症状のある方を一般患者と分けて診察するため発熱外来を行っています。

既存の診療所スペースでは対応できないため、診療所外に仮設プレハブを設置し対応していましたが、この度、診療所を増築し『東通村診療所発熱外来棟』が完成いたしました。

新たな発熱外来棟は、診察室、待合室、検査室及び身障者用トイレをコンパクトにまとめ、床暖やエアコンにより患者さんが快適に利用することが可能です。

また、水回りは自動水洗、自動ドアもフットスイッチ式と手を触れることがない感染症対策仕様となっています。

さらに自家用車2台分のカーポートを備え、降雨、降雪でもドライブイン方式での検体採取や症状の聴き取りが可能となっています。

なお、プライバシー配慮のため、保健福祉センターからは発熱外来棟が見えないよう窓に特殊フィルムを施してありますので、お気軽にご利用ください。



左側が保健福祉センター、中央がカーポート、右側が発熱外来棟



診察室（備品納入前）



診療所からの連絡通路

田村悠夏さん(東通中3年)第40回全国中学生人権作文コンテスト 青森県大会最優秀賞及び中央大会奨励賞受賞

11月27日の第40回全国中学生人権作文コンテスト青森県大会（青森地方法務局、県人権擁護委員連合会主催）において、田村悠夏さん（東通中3年）が最優秀賞を受賞され、12月7日に村庁舎を訪れ、畑中稔朗村長に受賞の報告を行いました。

このコンテストは人権尊重の重要性に理解を深めてもらおうと実施されたもので、いじめや虐待、障害者や外国人に対する差別や偏見などをテーマにした作品、県内107中学校の5129人の中から、田村さんは最優秀賞に輝きました。

畑中村長から「受賞おめでとうございます。作品はとても素晴らしい内容で感動しました。これからも周りの人への感謝を忘れず、今を大切に、自分を大切に、残り少ない中学校生活を過ごしてください。今後ますますのご活躍を期待いたします」と、受賞を称える言葉が贈られました。

また、同作品は12月17日開催の中央大会に推薦され、奨励賞を受賞されました。

田村さん、青森県大会最優秀賞及び中央大会奨励賞受賞、誠におめでとうございます。



畑中村長へ受賞の報告をした田村さん㊤